

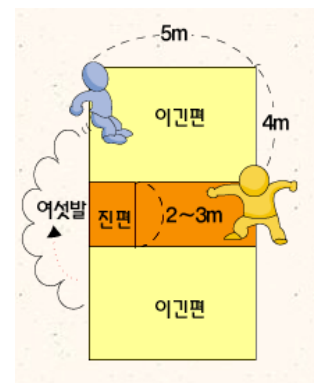
金曜コラム - ムクゲの花が咲きました。

金ジェリョン (ファチョン高校教師)

数年前に女学校に勤務した時の話だ。室内で可能な立ち幅跳び、腹筋、前屈の測定をしたのだが、その子供たちは面白い。特に立ち幅跳びをするときは笑わせる。何人かの子供は予備動作が全く行われなくて笑わせ、ぱたんとやめてしまう子供、素早く跳び出す子供、どれも楽しい。体育館の床に座って腹筋曲げの練習をするのに、お互いに手を握り合って足を広げ、腹筋運動をしてもがく自分の姿に顔を赤くしたりする。何人かの子供たちは、久しぶりに一方で「3歩とび」、「ムクゲの花が咲きました」をしている。私のような体育教師は室長、副室長、スポーツ部長を呼び出して測定と記録をさせておいて、ぶらぶら遊んでいる子供たちを「立会い観察」する。体育館の中はワイワイ騒がしく、キャッキヤという笑いが絶えない。

<訳注>

3歩とび: 子供の遊びの一種で地面に四角を書いて二組に分かれて行う。右図参照
日本ではSケンとかドロケイとか陣取り遊びがありますが、韓国にもいろいろあるようです。



ムクゲの花が咲きました: 日本では「だるまさんがころんだ」という遊び

そんなある日、他の組では全く異なる雰囲気が演出された。直前の時間に些細なことで教室で争いをしていた子供たちが、体育館に出てまでその雰囲気を引きずっていったものである。他のほとんどの子供たちは測定をしていたが、一方で群れをなして座って何か話を交わしていた子供の一人が爆発してしまった。突然立ち上がり、ドンドンと足を踏み鳴らしながら声を上げて泣き騒いだ。体育大会の時も自らを「情緒不安定な組」と立て札を作成して掲げていた学級の子供たちだった。ところで、この子がよく知っている子だ。すぐに介入するのはどうかと思って、しばらくして他の子供に頼んで玄関前に呼び出す。彼女は私の前に出るとすぐ悔しさに耐え切れず泣き崩れ、抑圧された感情的な言葉を吐き出し始める。よしよし、話ができるということは、あなた自身を克服する力も持っているという証拠だ。

しばらく聞いてあげるだけ聞く。話によると5~6人の子供からいじめのようなことをされたというものであり、我慢することができないということだった。子供一人で耐えるのは困難な問題に見えた。これは教科担当教師がむやみに介入することも難しい問題だ。頼りは担任だけ。はぁ〜、この組の担任の先生はさぞ大変だろう。担任は特別目的高校で一緒に働いていた女性の先生である。1学期に子供一人が自ら命を絶ったりもしたし、何人かの子供が適応できず苦苦労が並大抵ではなかったが、アイゴ、また起きた。静かに室長を呼んで状況を聞き、担任の先生と相談しなさいと言った。子供にはこのように話してあげた。

「誰かがあなたに穏当でない行為をしたら、あなた自身を守るために抵抗しなければならない。しかし、相手と同じ方法を使うことは賢明な方法ではない。次にその子たちと再び口論になったときは最初に怒るな。何よりも先に泣いたら負けだ。」

このように言ってあげながらも困っているのは同じだった。私はまさに「先公」になっている気分だった。

案の定。子供は嘔みつきそうに言いたいことを吐き出す。

「あの子たちは静かにしているけど、とんと叩いて行って、頭にくる、くそ、汚い。今あんなに悪口言うのにどうやって我慢するの。私は我慢できません。戦います。シャープペンで、椅子で突っついてやる。わぁ〜”

私は負けた。子供に解決策を与えることができると少しでも勘違いした自らが情けない。その子が選択する方法がより正しい方法になることも、主体的なものになるかもしれなかった。この子は一学期をこのように耐えなければならぬとは、あまりにもストレスがひどいと思った。状況が非常に深刻ではあったが、最終的には時間が薬になるのか。しばらく注視しなければならない。担任が賢明に対処するの信じてみるしかないのだった。

歳月が薬になったのか。話のように学校での日常は、育ってゆく子供だけに、「ムクゲの花が〜咲きました」式に早く流れていく。3年生は修学能力試験を終えた。K大のサイドスロー専門投手だった教育実習生も実習を終えて帰った。1・2学年は2学期 PAPS 測定（訳注：Physical Activity Promotion System 既存の体力測定が運動機能体力中心であるのに対して PAPS は健康関連体力中心。）をする。数年前の子供のように今、私の前にいる子どもたちも立ち幅跳び、腹筋、前屈のような PAPS 測定をしながら自分たち同士で楽しくして、涙ぐましい。前述した子供が1ヶ月ほど前、フェイスブックでメッセージを送ってきた。実際、この子は私の大学の同期である体育教師の娘である。ROTC 将校（訳注：Reserve Officer's Training Corps の略、予備将校訓練団）に任官した制服姿で父親と明るく笑って撮影した写真と一緒に。

「先生お元気ですか？今ではこのように過ごしています。（笑）」（結）

01 連合ニュース 2018.11.14

【 宣(ソン)・ドンヨル辞任で非難の嵐 ジョン・ウンチャン KBO 総裁のリーダーシップ”致命打” 】

今年1月に韓国プロ野球の首長に上がったジョン・ウンチャン KBO 総裁が就任1年もたたず、リーダーシップに致命打を受けました。

宣ドンヨル野球代表チーム前監督が赴任1年4ヶ月にして電撃的に14日、自ら辞任すると発表したことにより、ジョン総裁の「調整能力」が激しい批判に直面しました。

宣監督は14日に記者会見を開き、代表チーム監督を辞めるとしました。

宣監督は声明文でアジア大会3回連続金メダルを獲得した選手たちの自尊心を守れなかったこと、アジア大会優勝が難しくなかったという、共に民主党ソン・ヘウオン議員の国政監査発言、韓国体育史上初の国政監査証人出席による名誉失墜、専任監督制は必要ないとしたジョン総裁の国政監査発言を辞退の主要な理由として挙げました。

事実上ジョン総裁と KBO の能力不在を公開の場で叱咤しつたしたものです。

前任グ・ボンヌン KBO 総裁が任命したソン監督は2020年の東京オリンピックまで代表監督の任期を保証されていました。

2017年のアジアプロ野球チャンピオンシップ (APBC) が、今年ジャカルタ・パレンバンアジアゲーム、2019年プレミア12、2020年東京オリンピックなど毎年大型国際大会が相次ぐなか、オリンピックのメダルを目指して宣監督に4年間チームをまとめるように任せました。

24歳以下の若い選手たちが参加した APBC で代表チームの監督としてデビューした宣監督も、今の若い選

手たちが東京オリンピックの主人公になれるよう重用するとして成績と育成という二匹のウサギ狩りに意欲を示しました。

しかし、アジアゲーム代表チーム選抜をめぐる議論で「国歩」の立場に大きな傷がつけました。

宣監督は先月、国会の国政監査に出席して兵役未了の選手に利益を与えたという疑惑にもポジション別に最高の選手を選んだと所信を強調しました。

宣監督は、国政監査に出席前の記者会見と国政監査場で兵役に関連した時代の流れをきちんと読めなかったことに二回頭を下げて謝罪しました。

体育人として初めて国政監査場に立った不名誉と恥辱にも宣監督は監督を続けて守るという姿勢を見せたが、ジョン総裁の失言が宣監督辞退の決定打となったと思われます。

内部的に批判しても韓国野球の英雄である宣監督の外部「防衛幕」の役割をしてくれるべきジョン総裁が国会国政監査という公の場で2度の「私見」を明らかにし、宣監督は回復することができない傷を負いました。

KBO 総裁そして代表チーム運営最高責任者という公的資格で国政監査場に出席したジョン総裁は、まずTVを見て選手を選抜するのが正しいのかというソン議員の質問に「宣監督の不覚」だと答えました。

ジョン総裁はさらに、「これはまるで経済学者が現場に行かずに指標だけ持って分析し対応すること」と答え宣監督を袋小路に追い込みました。

宣監督は全国5つの球場で同時に開かれるプロ野球の試合を見ながら効率的に選抜するために、一つの場所からTVで5試合を見るのが良いと答えました。

ジョン総裁はまた、「一律に言えないが、国際大会が多くないとか代表常備軍がなければ、専任監督は必要ない」と事実上専任監督制に反対の意を表しました。

東京オリンピックの出場権がかかった2019年プレミア12、そして東京オリンピックなど、すでに予定された国際大会日程を全く知らずには、とても答えるのは難しいことでした。

たとえ私見でもKBO総裁が公の場で言うことではないという批判が殺到しました。

ソン議員は「スター選手が名将になるとは限らない」とジョン総裁に選手時代無名だったが監督として成功した人物を尋ね、ジョン総裁は趙ボムヒョン前KIAタイガーズ監督を取り上げるなど、国政監査の核心とは無関係な問答で現代表チーム監督の宣銅烈を公開の場でとがめました。

宣監督は声明文で「専任監督制に対する総裁の考えを初めて知りました。私の辞退が総裁の所信にも合致するであろうと信じます」と辞退の原因がジョン総裁にもあるという点を明らかにしました。

また、「スター選手が名将になるとは限らない」との指摘はいつも心に留めておくようにすると、骨のある言葉も残しました。

ジョン総裁とKBOは国政監査での問題の発言が大きくなると、宣監督と接触してお互いの信頼に変わらなと強調しましたが、宣監督の考えをきちんと読めず大きな失敗を招きました。

前任総裁と執行部がした事だと拒否反応を起こすジョン総裁の包容力不在、諮問委員会の一部の人の言葉だけ聞いて現実を偏向的に眺める認識能力、如実に現れた事態の調整能力などが宣銅烈監督の辞任でいっぺんに素顔を表わしたという指摘が出てきます。

<https://sports.v.daum.net/v/20181114151216204?d=y>

【 これで第2のチョン・ヒョンが現れるのか。李ヒョンテク、協会に苦言 】

(訳注：チョン・ヒョン (鄭現) は男子プロテニス選手。シングルス自己最高ランキングは19位。ネクストジェネレーション・ATPファイナル初代優勝者。2014年アジア競技大会ダブルス金メダリスト。韓国人初のグランドスラムベスト4進出者)

「先日、(江原道楊口で)(第73回)韓国テニス選手権大会をしたじゃないですか。私の知る限りでは過去の優勝賞金が1000万ウォンにはなったが今回は完全に半分に落ちたそうです。韓国最高のテニストーナメントなのに・・・」

去る13日午後、ソウル江南のあるコーヒーショップで会った韓国男子テニスの「レジェンド」李ヒョンテクは韓国テニス現実について苦言から話しました。「賞金も減少したが、大韓テニス協会の大会であればファンが行きやすい場所ではないのに本当にもどかしい現実です。」

「混合ダブルス優勝賞金も100万ウォンにしかなりません。二人で分けると50万ウォン。それはあまりじゃないですか？同好人テニス大会賞金よりも少ないですね。」 席を共にしたあるテニス関係者も声を高めました。

李ヒョンテクは現在、米国カリフォルニア州オレンジ郡のハンティントンビーチで「プレミアテニスアカデミー」を運営し、現地ジュニアエリート選手はもちろん、同好人まで指導しています。

拙速に行われた韓国テニス選手権は郭ヨンウン会長体制の大韓テニス協会が主導する協会行政の無能と乱脈ぶりを示した代表的なケースです。過去の前任会長時代には国内最高権威の大会として男子シングルチャンピオンには1000万ウォンを与えるなどの処置をしていました。

しかし、今年の大会男女シングルス優勝賞金は500万ウォン、男女ダブルスなどは200万ウォンに大きく減りました。実業オープン大会(男女シングルス各600万ウォン)より劣るレベルです。賞金総額も過去の1億ウォンから5000万ウォンに減りました。朱ウォンホン前会長と選挙戦の末に朱会長反対派の水面下の支援で会長に当選した郭会長は協会を背負った後、無能な行政と私有化でテニス人たちから非難を買っています。

ある実業チームの監督は、チームの主力が大勢韓国選手権大会に出ていない理由について尋ねると、「優勝賞金も途方もなく減り、そんな遠隔地ですればファンも来ないから」とし「国内最高権威の大会をそのように行うとはひど過ぎる」と批判しました。

「韓国でもテニスをするこのような事があると、若い選手やスポーツ有望選手たちに誇りを感じさせる必要があるのに、これでは誰がテニスをするのか。夢を持てるように刺激がなければならないのに・・・」 李ヒョンテクはため息をつきました。

実際、今回の大会には男子シングルの有望株ホン・ソンチャン、李ドクヒ、ジョン・ユンソンなどはもちろん、南チソン、金チョンイなど上位選手はほとんど出場していません。女子シングルスもハン・ナレ、チェ・ジヒ、李ソラ、金ナリなど看板スターがほとんど抜けています。協会が大会の広報もまともにせずに彼らだけの大会に転落しました。

李ヒョンテクは最近の国政監査で論議となった郭ヨンウン会長の「ドゥッボジャブ(訳注：ネット用語で、聞くことも見ることも出来ない奴または怪物というような意味)」関連のニュースも後になって知ったとし、「そこ(国会)に出てあんなに大きな声を出す人は初めて見た」と驚いています。郭会長は当時、アン・ミンソク国会文化体育観光委員会委員長が自分をドゥッボジャブと非難すると、「なぜ私がジャブノム(訳注：下品、下劣な奴)ですか」と聴聞会場で大声を張り上げて議論となりました。アン委員長など当時の議員は、

米国で暮らしてきた郭会長が協会を率いることになった後、姉の息子を引き継ぎ委員長に着かせ、ソウル奨忠コート管理の最高責任者も特定の人を着かせるなど協会の私物化をしたことについて叱責しました。すると郭会長は「そうしてはならないという法律がどこにあるのか」というふうに抗弁のみ重ねました。

李ヒョンテクは「これまで協会がどのように回っているか知りませんでした。引き継ぎ委員長の問題や、奨忠コート最高管理者に特定の人を座らせたのを見ると納得が行かない」とし「過去に趙ドンギル会長時代にはジュニア育成システムを作って有望株をツアー大会に通わせて、ホン・ソンチャン、クォン・スンウ、ジョン・ユンソン、キム・ヨンソクなどを育てた。チョン・ヒョンもサムスンの支援金 3 億ウォンを受けてツアー大会に出て世界的なスターに育った。ところが今のテニス協会はジュニア育成をしっかりとしているのか分からない」と皮肉った。

彼はまた、エリート大会支援金として政府から受け取ったお金をテニス協会が生活体育大会に転用するという話も聞いたとし、話にならないと言いました。

<https://sports.v.daum.net/v/20181115060601464?d=y>

03 日刊スポーツ 2018.11.16

【 知ってみると残酷童話だった「チームキム」の冬の童話 】

奇跡のような銀メダルと「カーリングシンドローム」を生んだ「チームキム」の「冬の童話」は、知ってみると「残酷童話」でした。

金ウンジョン (28) 金ヨンミ (27) 金ソニョン (25) 金ギョンエ (24) 金チョヒ (22・以上、慶北体育会) など 5 人の「チームキム」の選手が 15 日、ソウル松坡区オリンピックパークテルで記者会見を開きました。選手たちが競技場ではなくマイクの前に出た理由はただ一つでした。「チームキム」は去る 6 日に大韓体育会と慶尚北道体育会、義城郡などに訴え文を送って金ギョンドウ (62) 前カーリング競技連盟副会長と彼の娘である金ミンジョン監督に暴言と不当な扱いを受けたと主張しました。これにカーリングミックスダブル国家代表チーム監督であり、金ミンジョン監督の夫ジャン・バンソク (36) 監督が、これは事実と違うと反論するや、「チームキム」の選手たちが直接再反論に出たもの。国内外の取材陣 100 人の前に姿を現した「チームキム」の選手たちは「最近、監督団が反論した内容を見ると、私たちの訴え文がすべて嘘のように主張している」とし「私たちがなぜ訴えることになったのか少しも気にしない監督団の反論についての真実を申し上げ、なぜこの席まで来る事になったのか、もう一度申し上げるため記者会見をする」と説明しました。

暴露、反論、再反論で汚された「冬の童話」

女性カーリング代表だった「チームキム」は成功裏に終わった 2018 平昌冬季五輪の代表的なスターでした。監督から出場選手 4 人はもちろん、候補選手まですべて「金氏」で構成された「チームキム (Team Kim)」という名前でも外信の間でも話題になったし、「ヨンミ〜!」という叫びで「ヨンミブーム」を起こしました。予選から決勝まで毎試合で名勝負を演出し、全国民を「カーリングシンドローム」に引き込んだ「チームキム」の 2 月は、文字通り冬の童話のように美しかったです。

しかし、オリンピックが終わってまだ1年が経過する前に「チームキム」の冬の童話は監督団の専横とこれに対する選手の暴露戦で醜く汚れました。選手たちは金ギョンドゥ元副会長と金ミンジョン、ジャン・バンソク監督の一方的な決定でチーム日程が左右される場合が多く、悪口と暴言もよく聞いていたと暴露しました。また、「選手を個人の所有物として利用しようとする気がした」と訴えました。2015年から国際大会で獲得した賞金さえまともに受けなかったと主張しました。金前副会長側は選手たちの暴露に反論し、彼女らのサインが入った共同名義の通帳などを公開しましたが、国民の反応は冷ややかでした。記者会見に出た選手たちは、この部分については、「2015年に賞金通帳として使用する通帳を開設すると、選手たちに通報しただけ」とし「事前に金ギョンドゥ教授名義で進行するという内容は言及しなかった。私たちに同意を求めたことも全くなかった」と釈明しました。

スキップの金ウンジョンは「五輪後は難しい雰囲気だった。1～2ヶ月、1年待てば指導部も変わるかと期待したが、そうでなかった」とし「対話で解決しようとしたが、そのたびに戻ってくるのは『あなたたちがどれだけ多くの恵みを受けたのか分かるか』という言葉だけだった。もうスポーツをするのが難しいという考えが切実になって訴え文を出した」と説明しました。また、選手たちは、「訴え文を作成した最大の理由は、チームを分裂させようと監督団と、これ以上一緒にスポーツをすることができないから」と明らかにしました。

この日、選手たちが明らかにした要請事項は3つです。 ▲チームを分裂させようとする監督団とこれ以上一緒にスポーツができないので、監査ですべてを徹底的に明らかにして欲しい ▲カーリングを継続できるように慶北義城カーリング訓練院を監督団家族の個人所有物ではなく、選手と市民のためのスペースに分離せよ ▲スポーツを継続して北京オリンピックでより大きな目標に挑戦できるように、チームを正しく導いてくれる監督団が必要だ、ということです。

金ウンジョンは「私たちも（監督団とともに）家族として行くことができると考えた。しかし、オリンピックを通じて選手たちが成長するのを望まないことを悟った」とし「（金ギョンドゥ）教授が望む程に成長すると、それ以降は妨害した。組織より選手たちがより大きくなることを望まない」と皮肉った。

特にファンがくれたプレゼントや手紙をすべて包装が取られた状態で受けとったと暴露し、「チームにきた贈り物は理解できるが、選手個人にきた贈り物や手紙を全て開けて監督がまず確認して渡したのは理解できない」と強調しました。インタビューをさえぎるのはもちろん、メールまで制限しようとしたのは、自分たちを外部と遮断させて利用するためだという主張です。平昌冬季オリンピックのために2016年1月に「チームキム」に参加し、3年の間にこれらを指導したピーターガロント（60・カナダ）コーチも声明文を通じて「オリンピックを控え、指導部（監督団）からとんでもない不当な待遇を受けた。指導部はコミュニケーションがなく、ミーティングにも参加できず、チームに関する内容を共有できなかった」とし、金ミンジョン監督はチームの内容を他の誰とも話しができない執着した」と監督団を非難しました。ガロントコーチは声明文の最後に「チームキムを100%支持する」という言葉を付け加えました。美しい冬の童話が実際には、監督団の専横の中で作られた「残酷童話」だったわけです。

国民的な人気を得た「チームキム」をめぐる今回の議論は、多くの人が怒りました。青瓦台国民請願掲示板には「チームキムを守ってほしい」という請願が掲載され、議論が大きくなると文化体育観光部は慶尚北道、大韓体育会と共同で特定監査を実施することを決定しました。今回の特定監査は文体部の総括の下、文体部2人・慶尚北道2人・体育会3人の計7人が合同監査班を構成して、来る19日から来月7日までの3週間に渡って15日間行う予定です。必要に応じて期間延長も可能です。今回の監査で文体部は「チームキム」

訴え文が事実かどうかを調査し、慶北体育会カーリングチーム・大韓カーリング競技連盟・義城カーリング訓練センター運営等にどんな問題があったのか調べる予定です。選手たちも「監査を通じてすべての真実が明らかになることを願う。私たちも監査に積極的に臨む」と強調しました。

<https://sports.v.daum.net/v/20181116060038892?d=y>

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fgep@jarl.com